



エレクトリックギター

取扱説明書

もくじ

ご使用上の注意.....	2	トレモロユニットの角度調整.....	8
糸巻きトルクの調整.....	3	トラスロッドの調整（ネックの反りの修正）.....	9
ロックナットの高さ調整.....	3	ピックアップの高さの調整.....	9
弦高の調整.....	4	乾電池の取り扱いについて.....	10
ピンテージタイプ・トレモロユニットの調整.....	5	安全へのこころがけ.....	11
ロック式トレモロユニットの調整.....	6	保証書.....	13

このたびは、YAMAHA エレクトリックギターをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
優れた性能をフルに発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

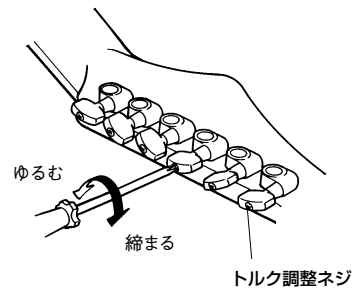
ご使用上の注意

- シールドコードの脱着時には、ギターアンプ等の電源を OFF にするか、またはギターアンプ等のボリュームを絞ってください。
- 物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- スイッチやツマミなどに無理な力を加えないでください。
- 外装をベンジンやシンナー系の液体で拭かないでください。お手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。なお、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布しないでください。
- 次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。
 - ・直射日光のあたる場所や、暖房器具のそばなど。
 - ・温度の特に低い場所、または高い場所。
 - ・湿気やホコリ、振動の多い場所。

糸巻トルクの調整

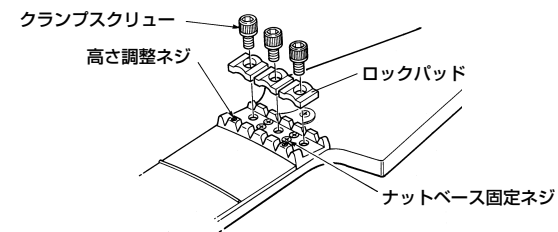
糸巻の回転トルクは、下図のトルク調整ネジで調整します。

- トルクが弱く、演奏中にチューニングが下がってくる場合
→ 調整ネジを右（時計廻り）に廻す（締める）。
- トルクが強く、チューニングがスムーズに行なえない場合
→ 調整ネジを左（反時計廻り）に廻す（ゆるめる）。



ロックナットの高さ調整

- (1) クランプスクリューを外し、ロックパッドを3つ共取り外します。
- (2) ナットベース固定ネジをゆるめます。
- (3) 高さ調整ネジでロックナットの高さを調整します。
右へ廻すとロックナットは高く、左へ廻すと低くなります。



【注意】

ロックナットの高さは、工場出荷時に最適な状態に調整されています。
調整が必要な場合は、お買い上げのお店へお申し出ください。

弦高の調整

弦高は、弦とフレットとの間隔を示すもので、このセッティングによって演奏性が変わります。

弦高の調整は、ブリッジおよびブリッジ上のサドル（駒）で行ないます。左右のネジを交互に少しずつ調整してください。

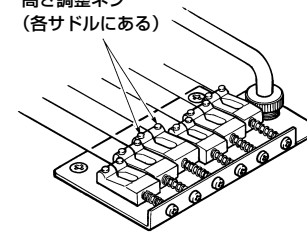
弦高が高いと弾きにくいし、低すぎるとビリつきの原因になります。最終フレットと弦との間隔が以下の数値になるように調整してください。

弦	チューニング	フレットと弦の間隔
1 弦	E	1.9 mm
2 弦	B	2.0 mm
3 弦	G	2.1 mm
4 弦	D	2.2 mm
5 弦	A	2.3 mm
6 弦	E	2.4 mm

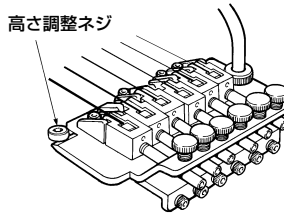
【注意】

弦高の調整は、トラスロッドが正しく調整された状態で行なってください。また、弦高を変えるとチューニングも変わりますので、そのつど正しいピッチにチューニングしながら弦高調整を行なってください。

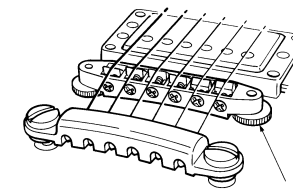
高さ調整ネジ
(各サドルにある)



高さ調整ネジ



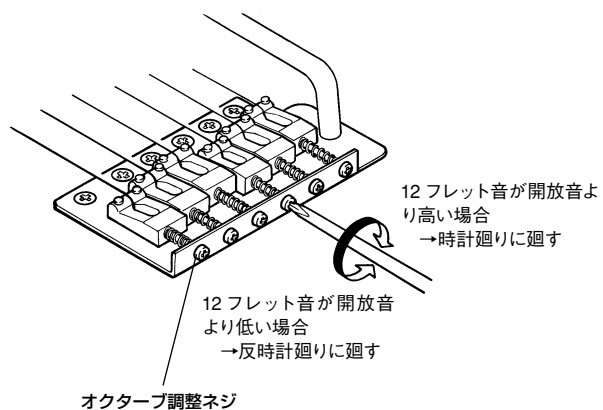
高さ調整ネジ



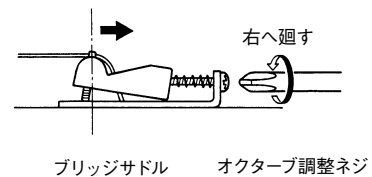
ビンテージタイプ・トレモロユニットの調整

■ オクターブピッチの調整

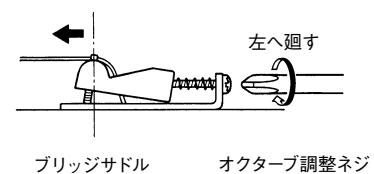
開放音と12フレットを押さえた時の音(1オクターブ高い音)が同じでない場合は、オクターブ調整ネジを回転させて、オクターブピッチを合わせます。



- 12フレットを押さえた時の音が開放音よりも高い場合
→ オクターブ調整ネジを右(時計廻り)に廻す。



- 12フレットを押さえた時の音が開放音よりも低い場合
→ オクターブ調整ネジを左(反時計廻り)に廻す。

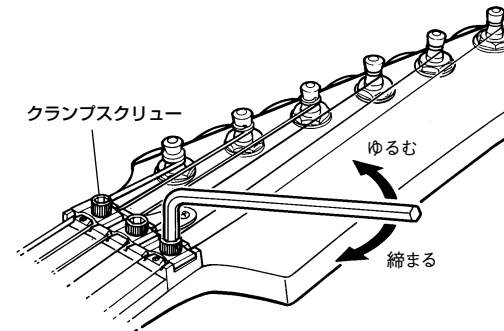


ロック式トレモロユニットの調整 (パート1)

■ 弦交換の手順

弦の交換は、付属の工具をお使いになり、以下の手順で行なってください。弦は、ボールエンドをカットしておいてください。

- (1) クランプスクリューを3ヶ所ゆるめます。
- (2) 交換する弦のロックスクリューをゆるめます。
- (3) 古い弦を外し、新しい弦をゆるめに張ります。
- (4) ロックスクリューを締め付けます。
なお、ロックスクリューはあまり強く締め付けしないでください。過度の締め付けは破損の原因となります。
- (5) ファインチューニングスクリューを、右いっばいに廻しきった状態と左いっばいに廻しきった状態のちょうど中間あたりの状態にします。
- (6) 仮チューニングしたうえで、トレモロアームを3回程度大きく操作し、再びチューニングします。
- (7) 必要に応じ、オクターブピッチの調整およびブリッジの角度調整をします。
- (8) クランプスクリューを3ヶ所を締めて、上駒側もロックします。
- (9) ファインチューニングスクリューにより、チューニングの最終調整を行いません。

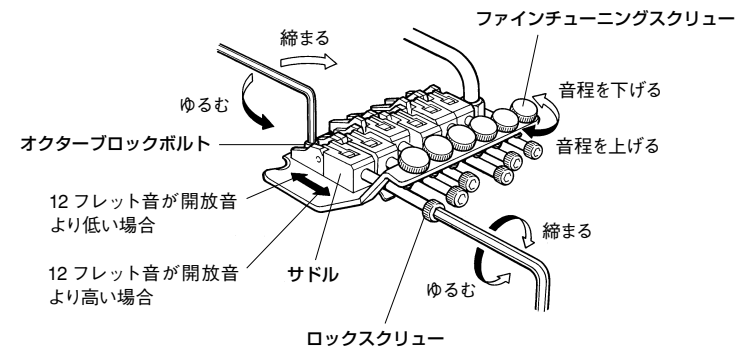


ロック式トレモロユニットの調整 (パート 2)

■ オクターブピッチの調整

開放音と 12 フレットを押さえた時の音 (1 オクターブ高い音) が同じでない場合は、次の要領でオクターブピッチの調整をしてください。

- (1) 前ページ “弦交換の手順” の (6) を行なった後、調整する弦のオクターブロックボルトをゆるめます。
- (2) 調整する弦のサドルを手で移動させて、オクターブピッチを合わせます。
 - 12 フレットを押さえた時の音が開放音よりも高い場合
→ サドルをネックと反対方向へ移動する。
 - 12 フレットを押さえた時の音が開放音よりも低い場合
→ サドルをネック側へ移動する。
- (3) オクターブピッチを合わせたら、オクターブロックボルトを締めて、再び “弦交換の手順” の (6) を行ないます。



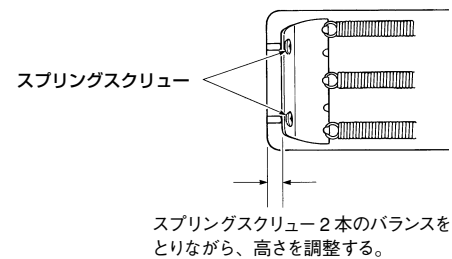
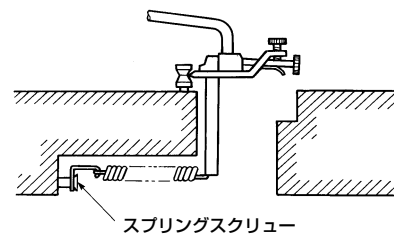
トレモロユニットの角度調整

右図のように、トレモロユニットのテール部がボディと平行になるように、ボディ裏面のスプリングスクリューを調整します。弦のゲージを変えた場合、この角度調整（フローティング量の調整）が必要になります。

- トレモロユニットのテール部が上がっている場合
→ スプリングスクリューを右に廻す。
- トレモロユニットのテール部が下がっている場合
→ スプリングスクリューを左に廻す。

なお、スプリングスクリューは2本ありますので、2本のバランスをとりながら、以上の調整をしてください。

また、この調整を行ないますと、チューニングが変化しますので、再度チューニングを行なってください。



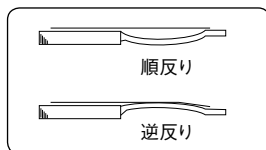
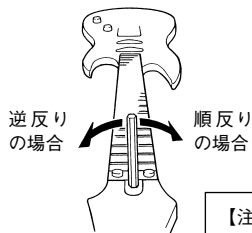
トラスロッドの調整 (ネックの反りの修正)

ヤマハギター・ベースはすべて、出荷前に完璧な調整をしてお届けしていますが、環境の変化等によりネックの状態が変化する場合があります。ご使用前に確認・調整をなさると万全です。

トラスロッドのナットを廻して、ネックの反りを調整します。

1フレットと最終フレットを押さえた時に、中央フレット付近で弦とフレットの間にやや隙間 (0.1 ~ 0.2mm) があるのが正常な状態です。

- ・順反りの場合…トラスロッドを右に廻す
- ・逆反りの場合…トラスロッドを左に廻す



【注意】

トラスロッドの調整方法がわからない場合は、お買い上げのお店へお申し出ください。

ピックアップの高さ調整

ピックアップはエレキギターで大変重要な部分です。セッティングが適性でないと、満足いくサウンドは得られません。

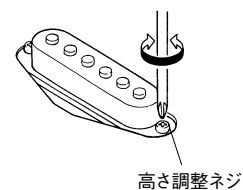
ピックアップ全体の高さ調整はピックアップの両サイドのネジで行ないます。ポールピースがスクリュータイプの場合は、各弦の音量バランスを調整することができます。

ポールピースと弦との間隔は、2 ~ 3mm が適当です。

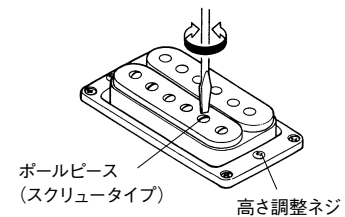
ピックアップと弦との距離が近くなるほど出力は大きくなります。

ピックアップを弦に近づけすぎて、演奏時にポールピースと弦が接触しないように注意してください。

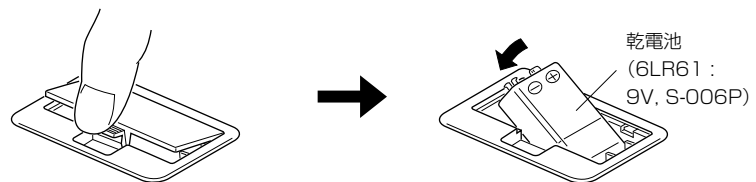
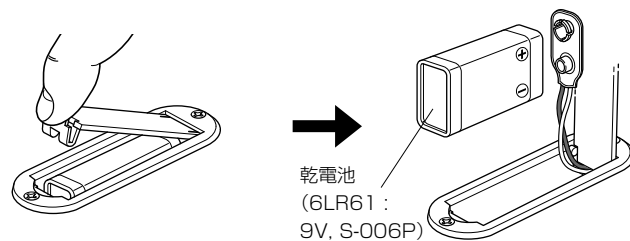
- ・シングルコイル ピックアップ



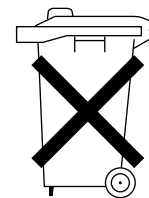
- ・ハムバッキング ピックアップ



乾電池の取り扱いについて



- ・ 乾電池を交換するときは、上図の手順に従い+/-の極性に注意して行ってください。



使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

このたびは、ヤマハギターをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。優れた性能を十分に発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになってください。以下の「安全へのところかけ」には、思わぬけがや事故を未然に防ぐための注意が書かれています。内容をご理解の上、この製品を正しく安全にお使いいただけますようお願いいたします。

 **注意 安全へのところかけ**

ヤマハギターを安全にご利用いただくための注意

思わぬけがをしないために

- ストラップを使用して演奏する場合は、ストラップがギターに確実に固定されていることを確認してください。
- ストラップだけを持ってギターを持ち上げないでください。ギターがストラップからはずれて落下するおそれがあります。必ずギター本体を持ってください。
- 楽器を振りまわすなどの乱暴な取り扱いはいししないでください。楽器がストラップからはずれて落下したり、周囲の人を傷つけるなど、思わぬ事故の原因となります。



- 弦を交換するときや調整するときは、顔を楽器に近づけすぎないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つけるなど、思わぬけがの原因となることがあります。



- 弦を交換したあと、弦の不要な部分は短く切りそろえてください。弦の先は鋭利なため、けがの原因となることがあります。
- 楽器のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。その際、弦の先端部分でけがをしないように注意してください。

乾電池の使用は正しく

- 乾電池を使用するギターは、指定された型の乾電池を表示された極性（プラスとマイナスの方向）に合わせて正しくはめこんでください。
- 2本以上の乾電池を使用するギターには、新しい乾電池と古い乾電池とを混ぜて使用しないでください。誤った使い方は、乾電池の破裂や液漏れを引き起こし、けがや汚損の原因となります。
- 使用後の乾電池は火中に捨てないでください。一般のゴミとは分けて、定められた場所に捨てましょう。

電気による事故を防ぐために

- 悪天候の屋外や、湿気が特に多い場所で使用する場合は注意が必要です。接続するギターアンプなど外部機器の取扱説明書もよくお読みください。落雷による事故、火災や感電の原因となることがあります。

保管は適切な場所で

- 火気の近くを避け、安定した低い場所に保管してください。火災の原因となったり、地震の際に落下してけがの原因となることがあります。
- お子様の手の届く所には、立て掛けないでください。お子様が触れると、倒れてけがをする可能性があります。
- 長時間使用しない場合は乾電池を取り外し、次のような場所をさけて保管してください。
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 温度が特に高い場所、または特に低い場所
 - ・ 湿度が特に高い場所、ホコリや振動の多い場所
- 夏期の自動車の室内は非常に高温となります。楽器を車内に放置しないでください。

その他、取り扱い上の注意

- この製品は工場出荷の際に最適な状態に調整されています。調整が必要なときは、技術を必要とする部分もあるため、なるべくお買い求めのお店にご相談ください。ご自分で調整される場合は、この取扱説明書に書かれた調整方法にしたがって行ってください。
- 楽器の演奏は適当な音量で行ってください。特に深夜の使用は、他人の迷惑とならないよう充分注意してください。
- 落下や転倒、輸送時の衝撃によって最も起こりやすい事故は、ネック折れです。ギターを使用しない時は、ケースにしまうかスタンドに立てて、倒れにくい状態で保管してください。
- 物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱いはさけてください。また、スイッチやコントロールツマミなどに無理な力を加えないでください。故障の原因となることがあります。
- シールドコードの脱着は、ギターアンプの電源を切るか、ギターアンプのボリュームを絞ってから行ってください。ギターアンプの寿命を縮めることがあります。
- 楽器のお手入れの際は、柔らかい布で乾拭きしてください。また、スプレー式の殺虫剤を近くで散布しないでください。楽器の外装を変質させることがあります。

お問い合わせ

- お買い上げのギターの使用法や取り扱いについては、ご購入店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器相談窓口

ナビダイヤル



0570-013-808

(全国共通番号)

* 一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは、TEL.053-411-4744

営業時間：月～金 10:00～18:00 / 土 10:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

- 修理につきましては、ご購入店または下記窓口までご相談ください。

<アコースティックギター>

ご購入店までご相談ください。

<エレクトリック・アコースティック・ギター、サイレントギター、エレキギター、エレキベース>

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル



0570-012-808

(全国共通番号)

* 一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは、TEL.053-460-4830

営業時間：月～金 9:00～18:00、/ 土 9:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)

北海道サービスステーション 〒064-8543 札幌市中央区南 10 条西 1-1-50 ヤマハセンター内

首都圏サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島 2-1-1 京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F

浜松サービスステーション 〒435-0016 浜松市東区和田町 200

名古屋サービスセンター 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町 2-1-2 ヤマハ (株) 名古屋流通センター 3F

大阪サービスセンター 〒564-0052 吹田市広芝町 10-28 オーク江坂ビルディング 2F

九州サービスステーション 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4

管弦打楽器事業部 GD 推進部 マーケティンググループ 〒438-0192 静岡県磐田市松之木島 203

※ 住所及び電話番号は変更になる場合があります。

SERVICE / KUNDENDIENST / APRES-VENTE / SERVICIO TÉCNICO / ASSISTENZA TECNICA / ПЕМОHT / 售后服务 / 서비스

If your guitar should need any parts or service, or if you need any information, including the address of your nearest YAMAHA dealer, contact:

Für Ersatzteile, Kundendienstfälle oder Informationen jeglicher Art, einschließlich der Adresse des nächstgelegenen YAMAHA-Händlers, wenden Sie sich bitte an:

Si vous avez besoin d'une pièce, si la guitare doit être réparée, ou si vous avez besoin d'informations, y compris l'adresse du distributeur YAMAHA le plus proche, adressez-vous à:

En caso de requerir alguna pieza o el servicio técnico de la guitarra, así como si necesita alguna información, como pueda ser la dirección del distribuidor YAMAHA que esté más cerca de su casa, póngase en contacto con:

Se la vostra chitarra dovesse richiedere parti o assistenza tecnica o se aveste bisogno di qualsiasi informazione, compreso l'indirizzo del più vicino rivenditore autorizzato di prodotti Yamaha, entrare in contatto con:

Если для гитары требуются запчасти или ремонт, а также если необходимо получить какую-либо информацию, включая адрес ближайшего дилера YAMAHA, обращайтесь:

如果您的吉他需要任何配件或维修，或者您需要任何信息，请找到离您最近的 YAMAHA 分销商并与我们联系。

기타의 부품 또는 서비스가 필요하거나 정보가 필요한 경우 가까운 YAMAHA 판매점에 문의하십시오.

Yamaha Corporation of America Guitar Service Department

6600 Orangethorpe Ave.,
Buena Park, Calif. 90620, U.S.A.
Tel: 714-522-9011

Yamaha Canada Music Ltd.

135 Milner Avenue, Scarborough,
Ontario, M1S 3R1, Canada
Tel: 416-298-1311

Yamaha de México S.A. de C.V.

Calz. Javier Rojo Gómez #1149,
Col. Guadalupe del Moral
C.P. 09300, México, D.F., México
Tel: 55-5804-0600

Yamaha Music Latin America, S.A. Sucursal de Argentina

Olga Cossetini 1553, Piso 4 Norte
Madero Este-C1107CEK
Buenos Aires, Argentina
Tel: 011-4119-7000

Yamaha Music Latin America, S.A.

Torre Banco General, Piso 7, Urbanización
Marbella, Calle 47 y Aquilino de la Guardia,
Ciudad de Panamá, Panamá
Tel: +507-269-5311

Yamaha Music Australia Pty. Ltd.

Level 1, 99 Queensbridge Street,
Southbank, Victoria 3006, Australia
Tel: 3-9693-5111

ООО «ЯМАХА МЮЗИК» (РОССИЯ)

Россия, 107996, Москва, Кузнецкий мост,
д.21/5, подъезд 2, офис 4015
Тел.: (495) 626 0660 Факс: (495) 626 0062

Yamaha Music & Electronics (China) Co., Ltd.

2F, Yunhedasha, 1818 Xinzha-lu, Jingan-qu,
Shanghai, China
Tel: 021-6247-2211

YAMAHA MUSIC KOREA LTD.

Dongsung Bldg, 8F/9F 158-9
Samsung-dong, Kangnam-gu, Seoul, Korea
전화: 02-3467-3300

WS31060 R0

YAMAHA

0904 Printed in Japan